

Labo News

らぼニュース

発行所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会
 住所 名古屋市中村区名駅5-16-17
 花車ビル南館 〒450-0002
 電話 052-581-1013
 F A X 052-586-5680
 ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>
 Eメール aamt@aichi-amt.or.jp
 取引銀行 三菱UFJ銀行 柳橋支店
 普通口座731-677
 発行人 梶山 広美
 編集人 山田 真

No.433 目次

- ◆「法律改正報告会」に参加して…………… (2)
- ◆尾張南地区研修会に参加して…………… (2)
- ◆西三河地区研修会に参加して…………… (3)
- ◆知多地区学術集會に参加して…………… (4)
- ◆世界禁煙デーキャンペーン
ボランティア募集について…………… (5)
- ◆VCT事業ボランティア募集について …… (5)
- ◆地区だより…………… (6)
- ◆研究会…………… (7)
- ◆平成30年度愛臨技
新人サポート研修会…………… (8)

平成30年度を迎えて

公益社団法人 愛知県臨床検査技師会 会長 梶山 広美
 平素は、当会の事業活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

平成30年度は診療報酬改定の年です。診療報酬本体は+0.55%増、検査領域では日臨技が重要要望としていた採血料が25点から30点に引き上げられ、評価できる結果となりました。今回は、6年に一度の診療報酬と介護報酬の同時改定であり、団魂の世代が全て75歳以上の高齢者となる2025年に向けた道筋を示す、実質的に最後の同時改定となるため、医療・介護両制度にとって重要な節目の年になります。この診療報酬改定の基本方針のポイントは①人生100年時代を見据えた社会の実現②地域包括ケアシステムの構築③制度の安定性・持続可能性の確保と医療・介護現場の新たな働き方の推進であり、重点的に取り組む課題として、医療機能分化・強化、連携を進め、効果的で質の高い医療提供体制を構築するとともに、地域包括ケアシステムを構築することが示されました。また、「医療法等の一部を改正する法律」の施行に向けた対応が始まり、平成30年12月ごろには法律、省令が施行されます。

この医療情勢の中、日臨技は、病棟や在宅検査技師等の業務へと力を入れております。医療と介護の連携の中で、我々臨床検査技師は検査室のみでの業務から求められる場所へ、積極的に業務を開拓することが必要になってきます。そして、法改正への対応として現在の精度管理事業、精度保証施設認証制度などの精度保証事業の再構築が図られます。

愛臨技においては、この医療情勢をしっかり受け止め、平成30年度事業計画に沿って活動してまいります。また、平成30年度は役員改選があり、6月の総会後から新執行部による会務が始まります。今年度の計画の中で、強化していく事業の1つに人材育成があります。新人教育からリーダー育成へと階層別研修会を開催する予定です。また、養成校との連携や臨床検査技師を目指す若者を増やすための中高校生へのPR事業にも取り組みたいと考えております。

最後に、日臨技や愛臨技の情報は、会報やホームページでお知らせしておりますが、臨床検査技師に関わることが盛りだくさん掲載されております。ぜひご利用をお願いします。今年度も役員一同会務が滞りなく遂行できるよう努めてまいりますので、会員の皆様の絶大なるご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

「法律改正報告会」に参加して

宏潤会大同病院 森田 秀夫

2月3日「法律改正報告会」が東京で開催されました。ご存知の通り2017年6月に宮島喜文議員が国会で厚労省の見解をただした医療法等改正は検体検査の精度管理を盛り込み18か月以内に施行されます。

今回の報告会の前半は厚労省医政局地域医療計画課地域関連サービス室室長補佐益田泰蔵氏をお招きし基調講演「法改正の概要」をお聞きしました。益田氏は臨床検査技師であり、そのお立場からの視点でお話しして頂きました。院内の精度管理の現状を良くご理解されており、精度管理法検討会から夏頃に審議会へ報告、公示、パブリックコメントを経て

冬頃に開始予定という事でした。やはり標準作業書、作業日誌等がポイントになるそうです。

後半は記念シンポジウム「医療法・臨検法の一部改正から考える臨床検査の未来像」と題し、田澤裕光氏（日衛協）、横地常広氏（日臨技）が座長、矢富裕氏（日臨医学会）、江川洋氏（日衛協）、丸田秀夫氏（日臨技）がコメンテーターとして熱い討論が交わされました。特定機能病院における臨床検査専門医の在り方、検体検査はモノか技術か、ゲノムが加わり益々複雑化する臨床検査領域の未来は我々の手の中にあることをつくづく思い知らされました。

尾張南地区研修会に参加して

平成30年2月24日に名古屋市立大学にて尾張南地区研修会が行われました。今回は当院神経内科の藤城先生に「認知症の日常診療と最近の話題」というテーマで講演して頂きました。

認知症は認知能力（複雑性注意、実行機能、学習および記憶、言語など）が低下し日常生活に支障をきたす状態をいいますが、日常生活は保たれている軽度認知障害（MCI）という前段階があります。症状としては認知症という記憶障害や徘徊のイメージが強いと思いますが、記憶障害などの中核症状に伴う徘徊や興奮などの周辺症状があります。パンを食べたいと思って買い物に出かけたけど、買い物に出かけたことを忘れてしまい、道もわからなくなってしまった結果、徘徊したという例をあげられています。

当院における認知症診療の留意点として1. 緊急性のある疾患に迅速に対応する2. 治療可能な認知症を見逃さない3. 主な認知症を正しく診断するという3点をあげられました。認知症の中には甲状腺機能低下症、ビタミンB12欠乏、正常圧水頭症など治療可能なものがあります。我が国の認知症の主な

JCHO中京病院 菅谷 直美

原因であるアルツハイマー病、脳血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症のそれぞれについて実際に症例を提示しながら病態や検査、画像診断、治療など詳しく説明して頂きました。

藤城先生の講演の前に私から「認定認知症領域検査技師」という資格について紹介させて頂きました。高齢化が進む我が国では認知症の患者さんが増え続けており、認知症対策として早期発見・早期治療が重要です。認定認知症領域検査技師は臨床検査技師もその一助となれるよう平成26年度に創設された日臨技認定資格の1つです。認知症の概念や病態、検査など幅広い知識が必要ですが、認知症の患者さんと接する時に役に立つと思いますので是非資格取得にチャレンジしてみてください。また、増え続ける高齢ドライバーによる事故を受けて道路交通法が改正され75歳以上の免許更新者には認知機能検査が義務化されました。神経心理学的検査をより多くの臨床検査技師が担当できるよう認知症対応力向上研修会Bが開催されています。愛知県の第1回目は2月25日に開催されましたが、また開催予定ですので、ご興味のある方はご参加ください。

西三河地区研修会に参加して



平成30年2月24日に開催された西三河地区研修会に参加しました。今回のテーマは「妊活と女性の働きやすい職場環境」で、女性のライフワークに関する内容でしたが、男性の参加者も多く、関心の高さを感じました。初めに、トヨタ記念病院の菅原雅先生に、「みつめなおそう女性のカラダー男性にも知ってほしい妊娠の知識ー」、次に刈谷豊田総合病院の中村清忠先生に、「臨床検査の未来は女性技師に託されたー求められる職場環境・意識・責務を考えるー」と題して講演していただきました。今回の講演を通して学んだことは、発生した問題に対して自分だけで悩むのではなく、周囲の人の協力を得ることの大切さです。

まず、菅原先生の講演では、不妊が増加している原因や不妊治療の方法とその難しさなど、妊活に関する知識を幅広く学ぶことができました。その中でも印象に残ったのは「妊活とは、女性本人だけでなく、パートナーとする男性、周りの人も含めすべての人が協力するということ」という言葉でした。恥ずかしいことですが、私自身、妊活というと女性がするものという印象が強かったです。菅原先生の講演を聞き、男性も妊娠に関する知識を持つこと、女性をサポートすることの重要性を学びました。これからは考えを改め、協力的な姿勢を持ちたいと思います。

次に、中村先生の講演では、アンケートをもとに女性技師に求められる職場環境について興味深く学ぶことができました。その中で、とてもおもしろい

碧南市民病院 太田 晃成
と感じたのは、「パートナー（男性）は家事に協力的ですか？」という質問に対して、男性は「自分は家事を協力的にしている」と答えたが、女性は「男性があまり協力的でない」と答えており、両者の感じ方に相違があるということです。仕事やプライベートにおいても言えることですが、自分の価値観と相手の価値観には違いがあることを理解し、お互いに歩み寄ることが大事だと思いました。

女性の検査技師は約7割に達し、職場において女性の活躍は欠かせないものとなっています。今回学んだ不妊と女性の働きやすい環境づくりに関する知識を、自分の中だけで完結させるのではなく周りの男性にも伝え、より良い職場環境になるよう目指していきたいと思います。



知多地区学術集会に参加して

2月15日に開催された愛知県臨床検査技師会の知多地区学術講演会に参加させていただきました。今回のテーマは「睡眠不足・睡眠障害がもたらす心血管病と認知機能の低下」ということで、中部大学大学院生命健康科学研究科の野田明子先生が講演をしてくださりました。

睡眠不足が健康に悪影響を及ぼすことは以前から分かっていましたが、どういった影響があるのか具体的に理解していなかったので大変興味深いテーマであると思いました。

講演会の中で特に印象に残っているのは、睡眠時間は6時間程度が一番理想的であり短すぎても長すぎても死亡の危険率が上昇するというお話です。これまで睡眠時間は長いほど健康によいと考えていた

半田市医師会健康管理センター 橋本 征也
ので意外であると同時に、毎日一定の時間に寝て起きるという規則的な生活が重要であると思いました。私自身、平日は睡眠時間が短く休日は長くなる傾向にあるので生活習慣を改めなければいけないと感じました。

その他、睡眠不足では過食に陥り糖尿病や動脈硬化のリスクが上昇することなど、日常の業務ではなかなか触れることのないお話を聞くことができたのでよかったです。今回学んだことを今後の業務に活かしていきたいと思っています。これからもこういった場に積極的に参加して、新しいことを勉強していきたいと考えています。最後に、知多地区学術講演会を開催してくださった全ての方々にこの場をお借りして心より御礼申し上げます。





世界禁煙デーキャンペーン ボランティア募集について

愛知県では、毎年、5月31日の「世界禁煙デー」及び同日から1週間の「禁煙週間」に合わせて、喫煙の健康影響についての知識普及を図るためにキャンペーンを実施しています。

愛臨技も例年このキャンペーンに参画し、公益社団法人としての公益活動の一環としております。また、臨床検査技師の社会的認知度を上げるためにもまたとない機会です。

よって、下記の要領でボランティアを募りますので、会員の皆様の多数の参加をお待ちしております。

記

日 時：平成30年5月31日(木曜日) ※予定
正午(12:00)～概ね30分から1時間程度
場 所：名鉄百貨店本店ヤング館前（ナナちゃん
人形南側）※予定
（名古屋市中村区名駅1丁目）
主 催：愛知県健康福祉部保健医療局健康対策課
内 容：世界禁煙デーおよび禁煙週間についての
呼びかけや啓発資料の配布
※日時、場所については変更になる場合
があります。

生涯教育履修点数：基礎教科 20点
申込方法：各地区理事に連絡願います。

お問合せ先
組織部長 牛田 展浩
〒457-8511 名古屋市南区白水町8
社会医療法人宏潤会 だいどうクリニック
健診センター
TEL (052) 611-8680
FAX (052) 611-8683
E-mail n-ushida@daidohp.or.jp

VCT事業ボランティア 募集について

愛知県臨床検査技師会では、特定非営利活動法人HIVと人権・情報センターが行うVCT事業(Voluntary Counseling and Confidential Testing: カウンセリングを伴う自主的なHIV抗体検査)へ当会の公益事業として協力しております。

この度、下記の要領で有志ボランティアを募集いたします。

日 時：毎月第2、第4日曜日
午後1時～午後5時頃
場 所：名古屋市青少年文化センター9階
第3研修室（ナディアパーク内）

事業内容：

- ・年1回程度の参加
- ・イムノクロマトグラフィー法を用いたHIV抗原・抗体検査（最大50件）を2人で担当

生涯教育履修点数：基礎教科20点

募集人数：若干名

申込方法：

氏名、施設名、技師会会員番号、住所、電話番号、メールアドレスを記入のうえ、下記メールアドレスまで送信または郵送でお送りください。

申込締切：平成30年6月29日(金)

連絡先：〒486-8510 春日井市鷹来町1-1-1
春日井市民病院 臨床検査技術室
後藤慎一（ゴトウ シンイチ）

0568-57-0057（内7285）

メール：goto_lab@hospital.kasugai.aichi.jp

高齢者医療の中の検査技師として

医療法人清水会 相生山病院 村松 好美

私たちの（医）清水会相生山病院は、もとは名古屋市天白区相生山にあったため、その地名が付いています。2000年2月に、現在の名古屋市緑区と豊明市の境に移転してきました。5階の職員食堂から見る景色は、眼下には畑が広がっており、キジの鳴き声も聞こえます。遠くを見ると、藤田保健衛生大学病院や御嶽山も見えます。

私たちは、この素晴らしい自然環境の中で働いています。

清水会の関連施設として、豊明・豊明第二・ひかり・まことの4つの老人保健施設と、リバーサイドケア赤池・グリーンヒルズケア相生の2つの有料老人ホームがあるため、相生山病院はご高齢の患者様が多いことが一つの特徴です。

そして、当院の患者様は常に最先端の医療を望んでいるわけではなく、優しく愛護的なケアを、またその中で無理なく検査や治療を受け、良質な医療を

提供してほしいと考えられている方が多いのが実状です。

意思疎通の難しい患者様に対しても、できるだけ検査内容を説明し、少しでも緊張を解きほぐして、より良い検査結果を提供できるよう心がけています。

私たちは、病院の方針のもと、保健・医療・福祉を中心とした優しい地域医療を目指して、検査技師としては何ができるかを考えながら、日々邁進しています。

この度、院長が地域医療をテーマに執筆した本が発行されました。この本の中には、医療・介護の重要性、また延命治療が全てではない、ご高齢の患者様が本当に望む最期を迎えることができる看取りの重要性、「死は敗北ではない」という当院の目指すところ書かれています。

ご興味のある方は、一度お手に取ってご覧ください。



研 究 会

血液検査研究班

専門教科：20点

日 時：平成30年5月19日(土) 15:00～17:00

場 所：リップルスクエア

アーバンネット名古屋ビル20F

久屋大通駅より徒歩約1分

テ ー マ：症例検討会（貧血編）

講 師：豊田厚生病院

酒巻 尚子

愛知医科大学病院

寺島 舞

名古屋大学医学部附属病院 山本ゆか子

グッドライフデザイン 加藤 太一

参加型の症例検討会を実施します。今年度は貧血をテーマに症例を提示させていただきます。皆さんと一緒に考えながら貧血について学び、日々の検査に役立てる研究会にしたいと思います。多数の参加をお待ちしています。

2018年3月9日現在 正会員数 3,233名

研 究 会

病理細胞検査研究班

専門教科：20点

日 時：平成30年5月19日(土) 15:00～17:00

場 所：株式会社カーク本社ビル5F大会議室

テ ー マ：病理組織検査の検体処理工程

～プロセッシング、脱脂、脱灰～

講 演 1：「プロセッシングについて」

総合大雄会病院

鈴木健太郎

講 演 2：「脱脂・脱灰の原理」

サクラファインテックジャパン株式会社

篠田 宏

講 演 3：「病理検査技師の取得資格について」

JA愛知厚生連 豊田厚生病院

田中 浩一

司 会：小牧市民病院

藤田 智洋

内 容：普段何気なく行っている検体処理ですが病理標本作製には、脱水、中間剤処理、パラフィン浸透のプロセッシング、脱脂、脱灰の工程を理解することが重要になります。今回は、各工程の意義から原理まで解説して頂きます。また、今年度最初の研究会であり、認定病理検査技師、細胞検査士、二級臨床検査士など病理細胞検査に関わる資格についても紹介して頂きます。多くの参加をお待ちしております。



平成30年度愛臨技 新人サポート研修会

『学びを力に変える！実践力アップの基礎とコツ』

平成30年度新卒および医療機関、臨床検査関連企業への新規採用の臨床検査技師を対象に、実際の医療現場で必要となる知識と技術の提供と、幅広い臨床検査分野の紹介をします。

【日 時】平成30年5月27日（日）9：30～16：40（9：00から受付）

【会 場】名古屋市立大学医学部 医学研究科 医学部研究棟11階 講義室A

【募集人数】150名

【参 加 費】日臨技・愛臨技会員および入会予定者 2,000円

他県会員および他県入会予定者 2,500円 非会員 4,000円

【昼 食 代】1,000円（お茶付き）（参加費とは別途徴収）

【申し込み】平成30年4月9日から5月13日まで愛臨技HPからWeb申込み

【生涯教育】基礎 20点（日臨技入会手続き済の場合のみ）

【プログラム】

9：00～9：30 受付

9：30～9：40 オリエンテーション・開講式

愛臨技副会長 所 嘉朗
司会 学術部長 中井美千代

【午前の部】

9：40～10：00 ①「POCTを活用した感染症診療への貢献」

JA愛知厚生連江南厚生病院 及川 加奈

10：00～10：40 ②「新人が実践で役立つ血液検査」

地域医療機能推進機構 中京病院 楠木 啓史

「新人が実践で役立つ凝固検査」

国立病院機構 名古屋医療センター 棚橋真規夫

10：50～11：30 ③「生化学・免疫検査における緊急検査」

JA愛知厚生連江南厚生病院 林 克彦

11：30～11：50 ④「身近に感じよう病理検査」

西尾市民病院 中村 広基

【ランチョンセミナー】

12：10～13：10 ⑤「日臨技・愛臨技・臨床検査技師連盟の紹介」

愛臨技会長 梶山 広美

【午後の部】

司会 学術担当理事 鈴木 博子

13：30～14：10 ⑥「心電図検査の心得」

JA愛知厚生連江南厚生病院 柴田 康孝

14：10～14：50 ⑦「尿検査の基礎」

公立西知多総合病院 服部 聡

15：00～15：40 ⑧「これだけは押さえておきたい輸血業務のコツ！」

愛知医科大学病院 片井 明子

15：40～16：00 ⑨「基礎を知れば 身近に感じる遺伝子検査」

医療法人 豊田会 刈谷豊田総合病院 伊藤 英史

16：00～16：20 ⑩「生殖補助医療の基礎～生殖補助医療とは～」

トヨタ記念病院 平松 博子

16：20～16：30 ⑪「検体採取等に関する厚生労働省指定講習会」のご案内

学術担当理事 鈴木 博子

16：30～16：40 閉講式

愛臨技副会長 所 嘉朗

【問合せ先】 中部労災病院 中央検査部 中井 美千代 TEL 052-652-5511（内7907）